

笑ってごらん

第 607 号 H. 29. 12. 6 発行

～今日のことば～

志を立てて、以て万事の源と為す。

(吉田松陰)

◇◆カボチャのお化けやら魔法使いやらで賑わったハロウィン祭りが終わったと思ったら、世間はすぐさまクリスマスバージョンへと移り変わった。11月当初はさすがに「なんだかなあ」といった感じであったが、12月に入り寒さが増してくると、しっくり落ち着いてきた。こんな田舎町にもそこかしこでクリスマスイルミネーションを見かけるようになった。鹿児島市役所近くのみなど大通り公園では先日イルミネーション点灯式が行われたという報道を目にした。いつも「見に行きたいな」と思いながら、ついつい日々の些事にかまけて先延ばしにした結果、そのまま新年を迎えてしまう。我が家でも子供たちが小さい頃は、ショップで長く連なった電球を買い込んで、玄関脇にある木に飾り付けたりしていたが、最近ではその熱も冷めてきた。



また、毎年クリスマスになると、我が家では飾り付けたツリーの下に、それぞれの子ども宛のサンタさんからの手紙が添えられてプレゼントが置いてあった(年によってはお父さん宛にも焼酎が置いてあったりした)。最近では子供たちがある程度成長したからであろうか、サンタさんは足を運んでくれなくなり、寂しく思っている。 ◆『光』ってどうして人の気持ちを揺さぶるのだろうか? 辛く寂しい時は暗めに、楽しい時は明るく、さらに盛り上がりたい時は点滅させたりスポットライトを使ったりすることで、その時々感情を演出してくれる。不思議な存在だと思う。クリスマスのイルミネーションもそうである。チカチカと瞬く光に人は心躍らせ、何か「特別」な雰囲気にも包まれているような感覚に陥り、この時期にしか楽しめない装いに身を包んだり、日頃とは異なる食事をしたりする。頭ではわかっているけど何だか楽しかったりするのだ。ま、なんだかんだ言っても、楽しいモンは楽しい。年末の慌ただしさの中ではあるが、羽目を外さない程度にお互い楽しみましょう! 無駄遣いをしないように! ◇◆3日(日)、南さつま「いろは」まごころ短歌大会表彰式が南さつま市民会館で行われ出席した(実行委員であるため)。今回は29,000首以上の作品応募があり、選考委員の方々もかなり大変だったようである。この日、小学生から一般まで、特別賞・入選・佳作の表彰が行われた(本校生は入選6名、佳作4名であった)。しかし、如何せん表彰人数が多すぎるために、被表彰者集合から講評終了まで3時間もかかった。このことは私たち実行委員の責任である。小学生低学年の児童は黙ってじっと座っていることが難しい。次年度に向けて対応策を練り直さなくては。

感謝道

◇◆先月29日、南さつま市生活指導研究協議会に出席した(今年度は会長職にあるので開会挨拶を述べなくてはならない)。この会合は市内の義務教育学校・高校の校長・生活指導主任によって構成されるが、お互いの情報交換会の中で結構有益な情報がもたらされる。問題行動に関するだけでなく、不審者のことや警察署からの情報も案内されるので大変有意義である。この会以外にも川辺地区の高等学校の会合や県高等学校の会合など類した会合がいくつかある(もちろん小学校や中学校だけの会合もある)。それぞれの学校においては自校の児童・生徒の安心・安全を守るため、こうして学校間及び市教育委員会との連携を密にしていけるのである。